

2026.3.19 (木)
第 35 回例会
(通算3844回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム インターアクト・ローターアクト活動報告 (青少年奉仕委員会)

次週例会 会員卓話「ラーメンを通じた街づくりの挑戦 麺遊会 20 年の軌跡」(プログラム委員会)

- ロータリーソング：奉仕の理想 ■ソングリーダー：田坂 渉君
- 会員数 106 名
- ビジター 釧路北 RAC 加納 萌子会長・〃 大澤 敬乃幹事
- ゲスト 武修館高校インターアクト 池上 大空君・〃 岡田 敬斗君・武修館高校 角橋 祐樹先生

会長の時間 荒井 剛会長



皆さん、こんにちは。先日、3月15日に旭川で開かれた地区チームリーダー研修セミナーと会長エレクト研修セミナーに

参加してまいりました。参加していただきました吉田パストガバナー、西村次年度ガバナー補佐、佐藤貴之君、石井君、工藤次年度会長、八幡君、役はなかったのですが私の送迎で付き合ってくださいました横田幹事、ありがとうございました。

私はグローバル補助金チームリーダーとして参加したのですが、グローバル補助金に関してひとつご報告があります。

今年度、当クラブでもタイ地区で妊婦のエコー検査機器を導入するというグローバル補助金を初めての試みですが、別のロータリークラブと一緒にやることを行っております。帯広西ロータリークラブと共同で行うことを進めていて、無事に国際ロータリーから承認されましたので、いま日程を詰めるのですが5月中旬に贈呈式が執り行われる予定です。日程など詳しいことが決まり次第、幹事から皆さんにご案内があると思いますので、ご参加していただける方はぜひタイと一緒に行っていただければと思っております。

その会長エレクト研修セミナー等で、次年度の国際ロータリー会長のメッセージ等が発表されました。以

前に発表されていたのですけれども、何回か前のロータリーの例会でも発表させていただきましたが、こういう言葉を言っていました。

メッセージとしては、「持続可能なインパクトを生み出そう」なのですが、私にはその中身が印象的だったので、ここでも披露したいと思います。

「自分を変えられればクラブと地区を変えることができる。クラブと地区を変えられれば地域社会を変えることができる。地域社会を変えることができれば世界が変わって、地域社会で、または自分自身の中で持続可能なインパクトを生み出すことができる」と、次年度会長が言っておりました。

これは結局、自分への挑戦をするということになると思います。今年度のテーマで挑戦をするということになるのですけれども、自分に挑戦するとはどういう意味なのかというと、自分を超越ということですね。私は「現状維持は衰退です」とよく言っていますが、自分に挑戦する、自分の現状に満足せず自分に挑戦することが大事なのだと思います。

次年度の R I 会長は、ナイジェリア出身でアフリカ出身の二人目の方ですが、この方は若いころに 10 年ほど、ローターアクトクラブとして活動していました。その後、ロータリークラブに入って今の地位に至っているのです。

ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリークラブは社会奉仕や国際奉仕やリーダーシップ育成という意味では皆さん共通しておりますが、対象年齢が違っているとされておりまして、18 歳までの

若者が所属するのがインターアクトクラブ、18歳以上がローターアクトクラブ。18歳以上といっても上限を決めるか決めないかは、クラブによって上限を撤廃することができるようになっておりますので、ローターアクトとロータリークラブの境界線は、今はなくなっておりますが、比較的若い方が所属するのがローターアクトクラブかなと思っております。

今日はインタクラブの二人、ローターアクトクラブの二人にお越しいただいているので、もともとロータリークラブがスポンサーになっていると思うので、ロータリークラブは何をやっているのかは皆さんお分かりだと思いますが、全世界で共通してロータリークラブが取り組んでいるものは皆さん聞いているかもしれませんが、ポリオ撲滅運動を行っておりますのでそのことをもう一度、ここで話したいと思っております。

ポリオ。小児麻痺のことです。小さい子どもが全身の筋肉を使えなくなってマヒしてしまうウイルス性の感染症なのですが、それが世界で流行している中で、これをなんとかして撲滅しようと始めました。ロータリークラブとして1979年にフィリピンで予防接種を行ったのが全世界で初めてでした。それからすごいお金を集めて予防接種を毎年行って、かなりの数がいた患者数が今では激減していて、99パーセントまで世界のポリオが撲滅されたと言っています。組織として感染症を撲滅する運動に取り組んでいるのは稀なので、これはロータリーが誇れる活動ではないのかと思っております。

99パーセントまで撲滅したからいいではないか、とはならず、このまま放置したら、あと10年の間にまた20万人くらいの小児麻痺の子どもが増えてしまうと言われておりますので、あと1パーセントを達成するために、まだまだ皆さんで力を合わせてポリオ撲滅運動にいま力を入れていることになっています。今日は、ポリオ撲滅に関わるひとりの方の話を紹介したいと思います。

ロータリークラブといえばポール・ハリスが創立者ですけれども、もう一人のポールさんの話です。ポール・アレキサンダーさんという方、この方は2年前の3月11日に74歳か75歳で亡くなりました。この方は5歳でポリオに罹ったのです。身体を動かせなくなって、自力で呼吸ができなくなりました。1960年代くらいに医者が開発した「鉄の肺」という大きな箱に入っていて、その箱の中でしか自力で呼吸できない生活を70年間していた方がおります。

その箱の中で、自分で努力して1日に8時間ほどは外に出られるようになりました。その8時間外に出られるようにするために何をしたのかというと、大学に行って弁護士になって、ダラスで弁護士として活動しました。その方は、ポリオ撲滅運動のことを知っているのか、ロータリーのことを知っているのかなと思っ

ていたら、知らなかったのです。ロータリーがポリオ撲滅運動をしているのを知ったのは2015年です。そのことに接して、これはロータリーを売り込むためにも自分が役目を果たすべきだと、最後は鉄の箱に入っている状態で「ロータリーの撲滅運動は素晴らしい」といろいろな所で講演などを行ってまいりました。

なかなか外に出られなくなっておりましたので、最後は自分もロータリークラブに入ったのですが、オンラインで参加可能なEクラブに入って最後のロータリークラブを終えたことになっております。

その方が2年前に亡くなっていて、ポール・ハリスではなく、もう一人のポール・アレキサンダーのお話をさせていただきました。

退会のごあいさつ

北海道電気保安協会釧路支部 川島 勝典君



こんにちは、川島です。

4月1日付けの人事異動で札幌に転勤することになりました。私は2023年にロータリークラブに

入会させていただいて約3年になります。あっという間の3年間でした。皆さまのご指導の下、最初は何をやっているのか分からなかったのですが、なんとか今日まで過ごすことができました。当時は滝越年度でしたが親睦活動委員会に配属されて、当時の委員長は現幹事の横田さんが職場まで訪ねてきてくださって、いろいろと手取り足取り教えていただいた記憶があります。

その当時に入った転勤族のメンバーも次々にいなくなっておりまして、いま残っているのは私とサントリーの佐々木さんと現副幹事の田坂さんだと思います。

あっという間の3年間でしたが、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに所属できたことは大変光栄なことでありまして、また、いい経験になりました。楽しい思い出もたくさんできましたので、これを胸に札幌に行くことになります。

本音を言うと、もう少し釧路にいたかったのですが、そういうわけにもいかないということで、来週、引越しをすることになります。

ということで、この場をお借りして皆さまにお礼を申し上げたいと思います。3年間、ありがとうございました。

■本日のプログラム■
インターアクト・ローターアクト活動報告

青少年奉仕委員会 委員長 岩田信一君



皆さん、こんにちは。今日は、釧路北ローターアクトクラブの2名の方とインターアクトクラブ・武修館高校の3名の皆さんに活動報告を

していただきます。

活動報告

釧路北ローターアクトクラブ 加納 萌子会長

皆さま、こんにちは。釧路北ローターアクトクラブ会長の加納萌子と幹事の大澤です。今日は釧路ロータリークラブ様の例会にお招きをいただきまして誠にありがとうございます。



早速ですが、活動報告とのことですので、限られた時間ではございますが、少しでもアクトに興味を持っていただけるような報告ができればなと思っております。また、普段、アクトの例会に来たことがない、普段、私たちがどんなことをしているのかよく分からないという方も多いと思いますので、今日は今年度の7月から今日までの例会を並べておりますので、ご紹介をしていきたいと思っております。では、画面をご覧ください。

まず7月、会長・幹事様と一緒に行かせていただきました表敬訪問です。7月1日から約1週間、毎日参加をさせていただきました。その節はお邪魔しました。ありがとうございました。

7月12日、私たちの表敬訪問例会は第1回目の例会です。会長・幹事様にも来ていただきまして、「新年度活動計画」ということで今年度の目標、メンバー紹介、意気込みなどをお話させていただく例会でした。

第2回目、地区代表公式訪問です。7月26日、アクトに2500地区の代表に来ていただきまして、地区の方針や会員増強のやり方、これからどのようにやっていくかをみんなで意見交換をした例会です。私たちの通常例会は会場を「さいわい」で借りて行っています。第3回目、8月20日「見えない世界を見てみよう」ということで。これは視覚障害の方々の体験をする例会を作っております。場所はさいわいで、実際に目隠しをしながら、お金を数えてみたり、文字を書いてみ

たりします。あとは、点字ブロックを使いながら普段の苦勞をされていることを理解するとともに、釧路でどのような取り組みをしているのかを勉強する例会をやっております。

第4回目、8月29日に「お家のことを知ろう」を。これはアクトのメンバーの中にウィンテックさん、熱原さん、などお家のことをお仕事にしている会員が多いので、そういったところから身近にあるガス・電気・水道などを勉強する例会です。

第5回目、「河川敷清掃&BBQ」。9月13日はアクトの日として9月10日前後にいつもやっております。パートナーシップを結んでいます釧路川の清掃活動を年2回やっている中の1回です。みんなでポリオの服を着ながらごみ拾いをして、みんなでバーベキューをする、これは毎年恒例の例会となっております。

第6回目、「目指せ300点、みんなでパーフェクト」、これはボーリング例会です。懇親を深める例会なのですけれども、今年度はポリオに力を入れておりますので、ちょっとしたゲームをしながら罰ゲームでお金を集めるといって聞こえが悪いですけど、みんなでポリオの募金をしながら懇親を深めました。

第7回は「野遊会」で、北クラブ様との合同例会です。家族、お子様を連れてみんなで大運動会を行いました。モルックやスプーンに球を乗せて競争するとか、そのような北クラブ様と合同の例会を行いました。

第8回目は「アクトのメンバー、紹介します」ということで、いま流行りのMBTI診断を使って自分の性格・中身を知っていただくとともに、それを有効活用してどのようにクラブに生かして行くかという例会です。

第9回目は「19時半だよ、全員集合」。これはボッチャを行いました。公立大学と教育大学のどちらにも参加を呼びかけて、30人ぐらいでボッチャをしています。会員増強では大学生も集めていますので、その呼びかけをして、みんなで楽しくボッチャを行った例会でした。

第10回目、釧路北ロータリークラブ様とのクリスマスの合同例会です。毎年行っておりますが、今回は仮装をして、サンタといろいろな格好をしながら、子どもたちを含めてゲームで例会を行いました。

第11回目は、「感謝の気持ちを込めて、日本の贈り物文化」。これが新年最初の例会でしたから、それにちなんで日本はこういう素敵な贈り物がありますよとか、少し見にくいのですが、実際に水引を作る例会を行っております。100円ショップなどで材料が買えるので、水引の歴史などを勉強しながら水引を作っております。

第12回目、「Sport in Life プロジェクト 元気な子どもと」です。これは北クラブ様との合同の地区補助金事業を行いました。まりも学園様から30名ほどのお

子様をお呼びして、氷の上での綱引きなど、体を動かしてほしいということで運動会をみんなで楽しく行いました。

第13回は「ワカサギ大好き、加納萌子」ということで、私が「釣りガール」と。ガールと言っているのかわからないのですが、3年ぶりの復刻例会となっております。塘路湖に行ってワカサギ釣りをして、みんなで一緒に食べるという楽しい例会でした。

14回目は「Youは何しにオーストラリアへ」です。私たちアクトの会の中に、昨年オーストラリアに留学していた会員がおりますので、実際にオーストラリアに行って感じたこと、価値観の違いなどを学びながら、日本でも使える英会話をやりながら、楽しくオーストラリアのお茶を飲みながら行った例会です。

第15回目は「アクトで勉強会」です。アクトは、私たち一人一人を考えながら企画をいつも作っております。そういった中でどうやって企画を作っていくのか、大きくしていくのか、お金の用意をどうしていくのか、が非常に重要になりますので、ウィンターパークを作られた中島仁実様よりご講演いただき、勉強した例会です。

今のところはこんな感じで行っておりますが、例会以外にもウィンターパークのお手伝い、盆踊り大会、帯広さんとのチャリティソフトボール大会、アクトでSUPを行ったり、ポリオなど、いろいろな所で活動しています。あとは、今年はベイロータリークラブ様との交流がよくありましたので、一緒にボーリングをして焼肉を食べている写真もありますね。

私たちは普段、仕事をしていますので、仕事の時間以外での活動なので、こんな形で一生懸命頑張っております。

これからの日程では、4月には「お出汁例会」「スポ・ゴミ」があります。「お出汁例会」は調理室を使って実際に日本のお出汁を、ちゃんとした取り方で取ろうという例会です。「スポ・ゴミ」はスポーツゴミ拾いということです。ゴミにそれぞれ点数をつけて、ゴミを拾って、点数を競い合うという「スポ・ゴミ」を行う予定です。

あとは6回の例会を行って今年度が終了になりますが、残り3か月、頑張っていきたいと思っております。少しお時間がありますのでアクトの現状について話させていただきます。

現在のアクトクラブの会員数は、今年度13名からスタートし、6名を迎え入れて現在19名で活動しております。年間24回の例会を行っていて、例会はほぼ自作で、内容や場所で試行錯誤しながら、なるべくお金がかからない方法でより良いものを作るように頑張っております。

正直なところ、企業会員がすごく少なくなくて悩んでおります。スポンサーシップ制度を用いて大学生の会員が

増えたのですけれども、大学生にはどうしても4年生で卒業があります。青少年育成ではすごくいいので、人数がいるということではアクトの活動の幅が広がるのですけれども、ようやく成長してきたなというところで、卒業で釧路から去ってしまうのが現状です。クラブ運営ができる企業会員が非常にいま少なくて、私を含めて今やっている重役のメンバーの8割9割が30歳を超えております。30歳からは退会ではなく本人の意志で卒業可ということでは35歳までいれるのですが、仕事の都合や、結婚・子どもとかもありますので、マジか、卒業してしまうよ、という現状でございます。

再三のお願いではありますが、皆さまの周りには若い方がいらっしゃらないでしょうか。ぜひご紹介をさせていただけたらと思っております。

そして、これからもアクトを存続させるためには皆さまのご協力が必要不可欠かなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、私たちが活動できているのは、皆さまより毎年いただいております助成金があるのと、いつも感謝しております。ただ、私たちができる恩返しはアクトの活動の中での自己成長と自分の勤め先、会社、社会への貢献だと思っております。もらえることを当たり前と思わずに、より良いクラブ活動ができたならと頑張っておりますのでこれからもよろしくお願いいたします。

そして、次年度はここに立っている大澤幹事が会長を務めます。まだ23歳と若いのですけれども、フレッシュにひたすら頑張ってくれると確信しておりますので、会長・幹事様はもちろんのこと、そうではない方も興味があるなという例会がありましたらぜひお気軽にアクトの例会に参加していただけたらと思っております。

今年度の残り3か月、そして次年度も一生懸命に頑張っていきたいと思いますので、これからもどうぞ末永くアクトクラブに対しましてご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

時間が過ぎてしまいました。すみません。本日はありがとうございました。ご清聴ありがとうございました。

インターアクトクラブ 武修館高等学校

角橋 祐樹先生



皆さま、こんにちは。武修館高等学校からまいりました角橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はうちの生徒2名を引率してまいりました。生徒から本校のボラン

ティア活動とか建学の精神について報告をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

学生から報告



こんにちは。武修館高校2年、岡田 敬斗です。同じく武修館高校2年、池上大空です。よろしくお願いいたします。

武修館高校のインターアクトクラブ・ボランティア活動について報告いたします。

本校は「愛と奉仕に生きる」という校訓を掲げています。人を愛し、人に尽くすという精神のもと、将来にわたって人のために行動できる人間になろうという願いが込められています。

学校教育目標には、ボランティア活動をとおして豊かな人間性を身につける人を育てたい、という思いが込められております。

ボランティア活動に力を入れている本校のボランティア組織には、インターアクトクラブ・I A Cと青少年赤十字・J R Cのふたつがあります。インターアクトクラブには各学年の体育コースと一貫コースの生徒が加盟しています。

インターアクトクラブの加盟登録式が毎年5月に行われます。新入生の体育コースの生徒が加盟します。代表の生徒が釧路ロータリークラブの会長様よりバッチを授与していただいております。代表生徒は誓いの言葉を読み、I A Cの一員として活動する決意を述べます。開式と閉式では点鐘の場面があり、おごそかな雰囲気になります。

本校では三大ボランティア活動を実施しています。インターアクトクラブ、青少年赤十字、それぞれの組織の一員としての自覚を持って全校生徒が取り組みます。4月に行う「市内一斉清掃」、11月に行う「釧路パラスポフェスタ応援奉仕活動」、そして11月から3月にかけて行う「献血奉仕活動」の三つです。

活動の様子を紹介します。4月に行う市内一斉清掃活動は学校の周辺だけではなく、部活動で使っている競技場やグラウンドの周辺などのゴミ拾いを行っています。11月に行う釧路パラスポフェスタの応援奉仕活

動は競技審判のお手伝いやパラスポーツ競技体験の補助、福祉関係の店の販売のお手伝いなどを行っております。献血奉仕活動については、献血年齢に達した生徒を対象に毎年多くの生徒が参加しております。

また、インターアクトクラブの活動としては、毎年3月の春休みころに行われるI A C海外研修にもI A Cメンバー代表が参加させていただいております。今



年度は参加できませんでしたが、来年度はぜひ参加させていただきたいと思っております。

ボランティア活動を行うことによっ

て、他者への思いやりという奉仕の心が育つ。近隣の方へのあいさつや礼儀をとおして自分の成長ができる。地域貢献をし、地域を愛する心が身に着く。など、社会性や豊かな人間性を育てることにつながります。

最後に本校の主な行事を紹介して報告を終えます。年間を通じてこのような行事があります。

昨年の文化祭の様子です。クラス発表でダンスを踊ったり、屋台を出したり、各クラスの制作物として垂れ幕などを作成いたしました。最終日の校夜祭では、グラウンドで焼肉も行い楽しい思い出ができました。

体育祭の写真です。「ウインドヒルくしろ」を貸し切り、バスケ、ミニバレー、フットサルなどの競技や綱引き、大縄跳び、リレーなどを行いました。本校の体育祭は規模が大きいので生徒がのびのび楽しんで参加しています。

以上で本校のインターアクトクラブ・ボランティア活動報告を終わります。

今後もインターアクトクラブの一員としてさまざまな活動に取り組んでいきたいと思っております。

また、私たち2名はアイスホッケー部に所属しており、ロータリークラブの皆さまにはロータリーカップをはじめ、さまざまな面でご支援をいただいておりますこと、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

今後ともご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

本日のニコニコ献金

- 村上 祐二君 スキー検定テクニカルプライズ合格しました。6回目の挑戦で” やっと合格”
- 田坂 渉君 4月2日の例会にも出席させて頂く予定ですが、大変お世話になりました。

今年度累計 364,420円